

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイ ゆめときわ		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 19日		～ R年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 19日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所を利用している子どもさん9割が当法人内の相談支援事業所とも契約をしているため、相談支援事業所との情報共有がしっかりできていること。 昨年10月から期間相談支援センターが開設したため、他の相談支援事業所との関わりが増えること。	相談支援事業所、当事業所、保護者様との会議や面談がしっかり行われるため、情報共有、共通理解が行えている。	関係機関との交流の広がりには期待はできる。 放課後等デイサービスから就労移行にも情報提供がしっかり行えること。 いろんな相談支援専門員さんとの関わりが増えることで、情報量も増えるのでしっかり連携を取っていきたい。
2	同じ会社内に就労支援事業所もあるので、現在放デイを利用している子どもたちの今後を見据えて、連携を取り就労体験が実地できること。	中高生には、定期的に長期休暇を利用して仕事の体験をさせてもらっている。また、就労の利用者さんとも交流をさせてもらっている。そのことで、子どもたちにも将来的なことの意識付けになっている。	引き続き、今後も体験や経験をたくさんして今後役に立てたいと思っている。
3	専門職員がそれぞれの分野の観点から子どもたちの支援について繋げていけること。	それぞれの職員が持っている資格を生かし、いろんな分野から子どもたちを分析できる。 会議、位置合わせは多く取り入れることで、職員同士の会話を増やし共有できる環境を整えていくように意識をしている。	外部研修に参加してもらい、さらにスキルアップ、意識向上に向けて取り組んでいる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様に向けての勉強会やペアトレなどの情報提供や参加の場を設けていない。	お仕事をされている保護者様も多く、ある程度の参加者確保が出来ないと定期的な開催も困難になってくる。	勉強会を行うには、各事業所ごとに開催できるのか他事業所とのすり合わせも必要になって来るので、まずは議題に挙げて会議を行う必要がある。
2	建物構造上、施設の設備に限界がある。	運動・静養・個別活動などの環境作りが困難な場合がある。	来所した児童から時間差で学習や作業訓練に取り組んでいる。 全ての児童の訓練が終わると、机上での工作や絵をかいたりするスペースとして活用している。
3			